

花沢アイクリニック通信

第15号
H29年3月

涙目のおはなし2



こんにちは。花沢アイクリニック院長の梅津由子です。

3月、春めいた日も多くなり、合わせてスギ花粉の飛散も本格

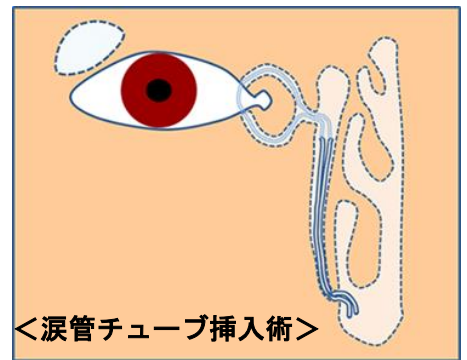
化する季節です。花粉症の方は早めの点眼・内服などを心がけましょう。

前回涙目の検査で、鼻涙管の通りを調べるため、生理的食塩水を涙点から注入して、鼻やのどに流れてくるかどうかを確認する「**通水試験**」のお話をしました。この検査で水が鼻腔まで流れていかない場合、鼻涙管閉塞（狭窄）といって、鼻涙管がふさがったり、狭くなったりして、涙が通過できない状態になっています。涙が流れていかないため、たえず目がうるみ、涙があふれてきます。

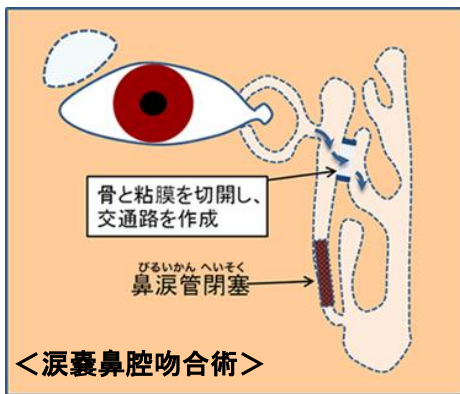
治療方法は、ブジーという細い針金のような器具を使ってつまった鼻涙管を拡張する事もありますが、大抵の場合効果は期待できませんので、手術をする事になります。

<涙管チューブ挿入術>

専用の涙管チューブをまぶたの涙点から鼻腔まで通し、そのまま留置します。チューブは通常2~3ヶ月後に抜去します。



<涙管チューブ挿入術>



<涙嚢鼻腔吻合術>

<涙嚢鼻腔吻合術>

閉塞の場所や程度、炎症の有無によって、チューブによる治療がうまくいかないことがあります。そのような場合に新しく涙道を作る方法として行われる手術です。目頭のあたりを切開し、涙嚢とその内側にある鼻腔とを直接交通させて涙液を鼻腔に導

く手術です。

鼻涙管閉塞（狭窄）は年齢とともにおきやすい傾向がありますが、涙液の分泌も年齢とともに減少してくることが多く、たとえ涙液の排泄がうまくいなくてもあまり自覚症状の無い場合もあります。



花沢アイクリニック

〒992-0022 米沢市花沢町2695-

1

ホームページ <http://www.hanazawa-eye.jp>

土曜日は昼休みなく、8:30~15:00まで

受付時間	月	火	水	木	金	土
8:30~1	☺	☺	☺	☺	☺	☺
2:00~	☺	☺		3:00 6:30	☺	☺

目玉いきいきライフ

目玉いきいきライフのコーナーでは、目の健康に関する情報や、耳より情報（眼科だけどっ）をお届けします。



今回の目玉いきいきライフは、おとなりの**すずかぜ薬局**さんとのコラボレーションでお届けします。薬剤師の村上先生から「**目薬の使用期限と保管方法**」について教えていただきました！



教えて！むらかみ先生



こんにちは。すずかぜ薬局薬剤師の村上です。

薬局ではよく、目薬について「開封後はいつまで使えるの？」「冷蔵庫に保管したほうがよいの？」という質問を受けます。そこで、今回は目薬の使用期限と保管方法についてお話をさせていただきます。目薬の容器を見ると、「2017.03」などと記載されています。これは、保存状態が良く未開封であれば、2017年3月末日まで使えることを意味します。

ただし、開封後は、医療用の目薬は1ヶ月、市販の目薬は3ヶ月が使用期限の目安になります。さらに、使い方や保存状態が悪ければ、期限内であっても効力が落ちたり雑菌が繁殖したりしてしまいます。期限内でも濁りが出たときは、すぐに使用を中止して下さい。

目薬には、「冷所保存」または具体的な保管温度の指示がある目薬があります。「冷所」とは1～15℃ですので、こう書かれているものは冷蔵庫に入れておきましょう。ただし、凍らせるのは厳禁です。冷蔵庫でも、冷気の噴出し口付近では凍ってしまうことがあるので、ドアポケットへの保管がオススメです。「冷所」などの特別な指示がなければ、直射日光や高温を避け、室温（1～30℃）の場所で保管して下さい。もちろん冷蔵庫へ保管しても大丈夫です。車の中への保管は、夏に高温となり、冬には凍結の恐れがあるので厳禁です。

また、目薬には光を通しにくい専用の袋がついているものもあります。それらは光が当たると化学反応を起こし、薬の性質が変わりやすいので、遮光保存の目薬は、添付の遮光袋に入れて保管しましょう。保管方法は目薬によって異なりますので、医師や薬剤師の説明をよく聞き、それをきちんと守って使用して下さい。

～春の花粉症対策、お早めに

花粉に負けるな！
目玉いきいきライフ！



春の花粉症シーズン到来です。**花粉が飛散する2週間前から点眼薬を使用し予防しておく**と、症状が軽くすんだり、症状が出る期間が短くなったりして効果的です。花粉の飛散情報に注意して早めに受診しましょう。また、かゆみなどの症状がある時だけでなく、飛散期間は継続して点眼するとよいでしょう。

編集後記

今回は特別企画として、すずかぜ薬局の村上先生にご協力いただきました。目の健康に役立つ耳寄りな情報、ありがとうございました！花粉症の方は、早めの対策を心がけましょう！

ビビ・ブッチ・まめちよ